

江戸川女子中学校・高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 5日 (水)

2019年6月5日、天候もよく穏やかな陽射しの中、江戸川女子中学校・高等学校の学校訪問会が行われました。

中庭ではガーデニング同好会が育てている花が、校舎を美しく彩っています。



菊池校長より、「教養ある堅実な女性の育成という建学の精神は継承しつつ、時代の変化に合わせたさまざまな改革をしていかなければならない」「志を高くもった自立できる人を育てたい」とのお話がありました。

入試対策委員長の小笠原先生より、「よりいっそう英語教育に力を入れており、海外のネイティブとのオンライン英会話授業や、English speaking programと題した英語漬け3日間のプログラムを導入している」とのお話がありました。また、講習や補習が充実しており、めんどうみの良さが感じられました。

同じく入試対策委員の内田先生より中学入試について「来春は大きな変化はない。2/1午後のAO入試は国語と算数の基礎学力を見るため合格ラインは8割。一般入試の合格ラインは6割前後。8割以上で特待。複数回受験で優遇措置がある。」とお話がありました。

説明会のあとは校内見学。清閑な中に、活発な授業の音が聞こえてきました。

多くの教室に電子黒板が導入されており、ディスカッションや英語のスピーチ授業を行っている教室など、アクティブラーニングの実践が垣間見られました。昼食のカフェテリアは多くの生徒で混みあうそうで、一番人気は「まぜまぜうどん」とのことです。



先生方の熱心な説明に、参加された保護者の皆様は聞き入っていました。また、授業の見学では、活発に発言をする在校生のみなさんが印象的でした。

参加された保護者様からは、「大学入試制度改革に向けた対策がよくわかった」「実際の生徒さんの様子が見られてよかった」とのご感想をいただきました。